

# 身近な林と動植物の関係

## ドングリ調べ

### 地域や林によって違うドングリの仲間

送られてきたドングリの種を確認（同定）して集計したところ、北海道では、ミズナラがもっとも多く、次いでカシワ・コナラとなりました。クヌギも市街地・住宅地の公園林で植栽されています。このほか、この調査では対象にしませんでしたが、北米原産のアカガシワのドングリも公園林の調査地から送られてきました。

東北地方ではコナラが広く見られ、次いでミズナラ・クヌギ・シラカシの順でした。カシ類は宮城県・山形県以南で見つかりました。

関東地方では、東北地方同様コナラがもっとも多いのですが、次いでクヌギやカシ類・スダジイが多くなります。カシ類のなかではシラカシが多く、関東地方だけにみられる特徴です。マテバシイが市街地・住宅地の公園林に、スダジイが市街地・住宅地の屋敷林・社寺林に多いのも特徴的でした。

中部地方ではコナラ・クヌギに次いでアラカシが3番目に多いドングリです。アラカシ・スダジイは公園林と屋敷林・社寺林に多く見られ、グラフには出ていませんが、マテバシイは公園林に、コジイ（ツブラジイ）・ウラジロガシ・アカガシは農村の屋敷林・社寺林に多いといった特徴があることがわかりました。

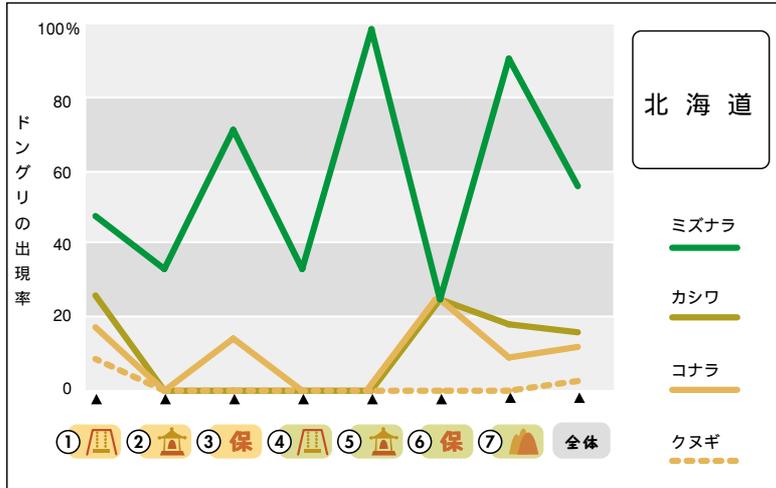
近畿地方ではクヌギよりアラカシが多く見られます。とくに屋敷林・社寺林ではもっとも普通のドングリです。また、クヌギはとくに市街地・住宅地の保存緑地・斜面林にもっとも多く見られました。

中国地方ではコナラ・アラカシ・クヌギがほぼ同じ割合で見られます。ここでもアラカシは屋敷林・社寺林にもっとも普通のドングリです。

四国地方ではアラカシのほうがコナラより多くなります。とくに市街地・住宅地の屋敷林・社寺林の約90%でアラカシが見つかりました。コジイ（ツブラジイ）やウバメガシの出現が多いこともこの地域の特色です。



林のタイプ別にみたドングリの状況



- ① 市街地・住宅地の公園林
- ② 市街地・住宅地の屋敷林・社寺林
- ③ 市街地・住宅地の保存緑地・斜面林
- ④ 農村の公園林
- ⑤ 農村の屋敷林・社寺林
- ⑥ 農村の保存緑地・斜面林
- ⑦ 農村の山地林

